

学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
芸術	書道 I	1	2	「書道 I」 高木厚保人ほか17名（東京書籍）	
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な理論と表現技法を習得する。 ・書道の諸活動を通して、書の楽しさ、書を愛好する心情を育てる。 				
評価の観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書道に関する事項について理解している。 ・古典の特徴を理解している。 ・用筆・随筆を理解している。 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の特徴を生かし、書くことができる。 ・用筆・随筆を習得している。 ・用筆・随筆を理解している。 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み姿勢や、プリントの書き込み内容等を評価の参考とする。 			
学習の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物や小テストで「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・授業中の取り組み姿勢や、プリント等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 				
学期	単元	学習内容	学習の目標		
1 学期	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の関係 ・文房四宝 ・書の分野 ・書道用語 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写と書道の共通点と相違点について理解する。 ・それぞれの用具・用材の特徴を理解する。 ・書の分野について理解する。 ・書道用語と意味を理解する。 		
	漢字の書 楷書	漢字の成立と変遷	漢字の成立と変遷を理解する。		
		ペン字の実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり丁寧に書く。適切な大きさで書く。 ・文字のバランスの取り方等について把握し、表現する。 		
		毛筆の実習	基本の点画について理解し、表現する。		
		<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書(楷書) 九成宮體泉銘 孔子廟堂碑 牛橛造像記 	古典の特徴を理解し、用筆・随筆を習得する。		
創作	創作	<ul style="list-style-type: none"> ・古典から習得した用筆・随筆を生かして表現する。 ・展示する作品を完成させる。 			
2 学期	漢字の書 行書	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書(行書) 蘭亭序 風信帖 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆・随筆を理解し、表現する。 ・古典の特徴を理解し、用筆・随筆を習得する。 		
	篆刻	篆刻の実習	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻について理解する。 ・篆刻の方法に従って「印」を完成させる。 		
3 学期	仮名の書	単体	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷を理解する。 ・仮名の用筆・随筆を習得する。 		
	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書について理解する。 ・総合的に把握し、表現する。 		